

1 研究全体会での確認事項 ～ 研究計画の書き方について

(1) 共同研究における目指す子供像について

低中高学年の三段階に分けて書く。内容は前年度の研究集録を参考にする。

(2) 6 研究授業計画について

1 回目の授業内容, 2 回目の授業内容というように, 2 回の授業内容について現段階で考えている概要を書く。

(3) 7 授業技術課題について

直接研究の内容と結びつくものではなく, 授業技術に関する自分の課題について, どのような手だてを行うかを書く。

(4) 裏面の書き方について

- ・表面とは関連していないことを示すため, 8 という項立てをやめ, ◎ (二重丸) とする。
- ・「教科の特性と研究内容との関連」→「教科の目標と研究内容との関連」と変更する
- ・「今年度指導するポイント」には, 指導要領の内容と今年度の研究内容の関連する部分について記述する。(今年度の研究のポイントを網羅するものではない。)

裏面は, 自分の研究教科についてより深く指導要領を読み込む, ということが本来の趣旨です。それを他の先生方も読むことでお互いに勉強になるのではないかと思います。表面の研究内容とは切り離して考えていただければと思います。

※5月中に訂正したものを「校内研究」のフォルダに保存してください。

その後, WEBにアップします。

2 研究授業の進め方についての確認

- 模擬授業前に学年部での指導案検討をお願いします。日程は学年部で調整してください。研究部からも参加します。
- 指導案は10日から2週間前には, 御指導いただく先生へ送付してください。
- 今年度は御指導いただく先生方より事前に授業内容について指導していただくことができます。指導案を考える段階で, 指導過程や資料等については是非相談してください。

3 「思考を深める手だての工夫」について

一昨年度末にまとめた手だての一覧をご覧ください。(別紙参照)

関西大学黒上先生の「シンキングツール」の資料を参考にして, 思考を深める手だてについて工夫していました。校内研究のフォルダにPDFの資料を載せてありますので, 参考にしてください。

4 研究授業の日程について

若干の変更があります。最新版をお渡しします。(別紙参照)

